

令和5年度「多摩テレビ放送番組審議会」議事概要

日 時	令和6年2月7日(水) 14時00分～		
会 場	パルテノン多摩 4階 会議室 3、4		
出席者	出席委員 4名	今原 淳夫 委員 (会長) 高橋 豊 委員 竹中 良介 委員 須田 亮太 委員	事務局 代表取締役社長 齋藤 健治 常務取締役 神崎 龍治 執行役員 (総務等担当) 大澤 浩一 執行役員 (技術等担当) 久保 明 執行役員 (制作担当) 川那子 進一 技術部長 渡邊 穰 営業部長 小谷田 弥 制作部マネージャー 小林 心
	欠席 3名	長崎 健 委員 中村 その子 委員 橋場 万里子 委員	
議 事	(1) 多摩テレビの現況 (2) 今年度のコミュニティチャンネル (地域情報番組) の取組 (3) 自主制作番組のビデオ視聴及び意見交換 (4) その他		
委員からの意見 (1) 多摩テレビの現状 <特に質疑なし>			
(2) 今年度のコミュニティチャンネル (地域情報番組) の取組 <特に質疑なし>			
(3) 自主製作番組のビデオ視聴及び意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の人間や企業の紹介は、地元ケーブルテレビ局にしかできない。自分の住んでいる地域にも素晴らしい企業があるので、どんどん掘り起こしていただいて、それを紹介していただけたらいい。 ・ エリアの中に (サッカー) J1 チームに今年からふたつ上がったというのは、全国的にはすごいことだと思う。難しいかもしれないが、そこを少し盛り上げられたらいいかな、と思う。コロナが明けて、これから市民がつながっていったり、映像の中で共有感を持っていくといったプラス方向だとエンターテインメントに広がる。スポーツだったり、アーティスト、ミュージシャンなど、地元のアーティストなどと繋がって何か出来たらいいな、と思う。そういう地元ならではの放送もいいのではないかなと思う。 ・ 特に印象に残ったのは「探検カンパニー」。番組を非常に興味深く見た。地元の企業であったり、個人であったり、中小企業の方がものすごく一生懸命にものづくりをされているということなので、当施設で、こういったものをしっかりと取り上げて、もしくは販売の場を提供したり、販路を拡大するようなことを考えたいなと、番組を見て、ひとつきっかけになった。こういったものを取り上げる多摩テレビの地域密着の力はすごいなと感じた。 ・ 「安全安心」ということに興味を持った。企業の中でもすごくBCPに力を入れている。われわれの施設も不特定多数のお客様が来訪されるので、月1回、店舗と共同で地区退路訓練を実施している。どうやってお客様を逃がすか。火災の場合はどう動くか、地震の時はどう動くかというシミュレーションをもとに、しっかりと訓練を行っている。企業でいろいろな取り組みをしていると思うので、そういったものも取り上げていただくと市民の方にも安心感を持っていただけのではないかな。 			

- ・ いろんな切り口で、幅広く番組を作られていると感じた。全国放送にはない魅力、地域の魅力というのが見どころだと思うので、幅広く紹介していくというのは大事だと感じた。その中でも一貫しているのが、人にスポットを当てているところと感じた。それぞれの人の思いというのが感じられた。そういうところを見せることによって、地域の方々が街に愛着を持っていくことに繋がるのかな、と感じた。そういうことによって、お互いの街に対する愛着と同時に、市民それぞれの信頼にもつながっていくのでは、と思っている。実際に万が一災害が起きた時に、防災や減災にそういった信頼感や繋がりが生きてくると感じた。引き続き、そういったところを番組作りのひとつ中心として添えて制作していただきたい。
- ・ 八王子にもいろいろな魅力のある会社もあり、いろいろな団体さんもいろいろな活動をしているので、そういう魅力をひとつひとつ掘り起こしていただきながら地域に愛着を持てるような番組作りが引き続き大事なのかなと感じた。
- ・ 本日欠席の委員からの意見を代読いただけるか
 - 「ぶらたま」について、街歩きの番組は、民放でも目にする機会が多いですが、拝見した回の多摩市一ノ宮では、字（あざ）を丁寧に取り上げ、より地域密着度の高い内容となっている所が魅力的だった。
「探検カンパニー」では、企業紹介にとどまらず、五嶋さんの生き様やお人柄が伝わる感動的な内容だった。
両番組とも地域への愛着が深まる、多摩テレビならではの素晴らしい番組と思う。
 - いつもながら地域密着の丁寧な取材が行われ、貴重な地域の情報発信を行っていただいていると感じる。
探検カンパニーのヴァイオリン技術者の紹介は見ごたえがあった。地域の様々な方の人生や思いを丁寧に取材・発信することはとても重要。アーカイブ化して蓄積すると良いと思う。地域に住む外国人の方も増えているので、今後、積極的に紹介してみるのも「多様性」という観点で良いように思う。
初詣の生放送も、視聴者が行きたくなる臨場感があり、とても良かった。
- ・ 今年度から月1回の生中継「TTV ライブ NOW」、そして毎月更新の「探検カンパニー」「ぶらたま」の計3本の番組を新たに立ち上げられたことは素晴らしいことと思います。公共放送という立場でコンプライアンスに留意しながら、果敢にチャレンジされ、今後とも継続されるという姿勢に感謝申し上げます。
特に「探検カンパニー」では、他の委員同様「店や事業を立ち上げた人の思いが伝わっていること」に、番組の質の高さを感じました。
多摩テレビが、今後とも各種天災・地震情報の提供含め、地元密着したきめ細かな報道・番組により、よりいっそう地域の重要な役割を全うされることに期待します。

以上